

# 自立支援介護・パワーリハ通信

第8号



## 第23回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会報告

2024年5月18・19日に第23回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会が、東京「タワーホール船堀」にて開催されました。今年は、昨年に続き大ホールと小ホールを使用した開催となりましたが、参加人数は昨年の倍となる述べ700名の方にご参加いただきました。

今年の学術大会では、テーマを「原点からの挑戦」として、1日目を特別講演、シンポジウムⅠ、シンポジウムⅡ、2日目を一般演題と2日間のプログラムを分け、特に1目は参加者全員が大ホールで学びを深められるような内容になっておりました。

1日目の特別講演では、「認知症の新しい非薬物療法『認知能動療法』とその効果」という題目で、本学会の顧問である竹内孝仁先生にご登壇いただき、認知症に対する非薬物療法の実践内容やその成果、認知能動療法の考え方や具体的な手法について説明していただき、認知症治療における新しい概念を学ぶことができました。シンポジウムⅠでは、「自立支援の促進」というテーマで、(株)信州高齢者介護研究所の吉村敏康氏、特別養護老人ホーム海光苑の紀本礼子氏、社会福祉法人福岡光明会の田代由美氏の3名のシンポジストにご登壇いただき、自立支援を促進するためには、どのようにアプローチすれば良いかについて有意義な討議がなされました。シンポジウムⅡでは、「パワーリハの効果の再確認」というテーマで、医療法人社団もりもと森本外科・脳神経外科医院の御船達矢氏、社会医療法人財団白十字会介護老人保健施設サンの石橋経久氏、医療法人春成会介護老人保健施設アメニティ国分の藏元隆史氏、社会医療法人財団白十字会白十字リハビリテーション病院の小嶋栄樹氏の4名のシンポジストにご登壇いただき、パワーリハの原点であるMTT (Medical Training Therapy) に着目し、その効果について討議され再確認がなされました。

2日目の一般演題では、各セッションのテーマは多岐にわたり、斬新な発表や新しい発見が多々あり活発な議論がなされ、今年の学術大会も盛会のうちに終えることができました。

## 第24回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会

令和7年6月7日（土）、8日（日） 東京：タワーホール船堀

演題締切 令和7年1月31日

**発表演題募集中！！**

詳細はホームページ参照

一般社団法人  
日本自立支援介護・パワーリハ学会



Japan Society of Functional Recovery Care  
and Power Rehabilitation

## 認知能動療法 Web 研修会開催のお知らせ

第 23 回学術大会において、これまでの認知症ケアから新たな認知症を治すケア理論（認知能動理論）と介護技法（認知能動療法）が竹内孝仁顧問から発表されました。その理論と技法を認知能動療法 Web 研修会で学ぶことができます。認知能動療法 Web 研修会の目的は、認知症状の改善・消失をさせる専門的な人材の養成と認知症ゼロ施設をつくることです。施設参加、個人参加可能です。ふるってご参加ください。下記日程にて実施致します。

### ～ 個々の認知症観を改め症状がゼロになるまで ～

日 程：2024 年 9 月から 2025 年 8 月 年 12 回開催

参 加 費：詳細は学会ホームページ参照

開催方法：双方向遠隔方法（インターネットによる双方向 Web 利用会議システム）

定 員：50 団体（施設・法人・個人）

申込期限：途中からでも参加可能

講 師：一般社団法人 日本自立支援介護・パワーリハ学会 顧問 竹内 孝仁 氏

※個人で事例のない方でも聴講のみの参加が可能です

※途中参加の費用については、月割り徴収になりますのでぜひ御参加下さい（学会ホームページ参照）

## 認知症高齢者の現状から認知症ケアの取組が急務

平成 29 年版高齢社会白書によると、65 歳以上の認知症高齢者は 2012 年には 7 人に 1 人であったのが、2025 年には 5 人に 1 人になると推計されており、WHO（世界保健機関）においても全世界で毎年 1,000 万人が新たに認知症を発症していると警鐘を鳴らしている。このような状況下のもと、当学会では 10 年ほど前から専門的な理論と介護技法を持って認知症ケアに取組んだ成果が下図である。

あんしん塾成果（2012—2015 17塾160名の症状）

	症状総数	消失	改善			
			ほとんど	中等度	一部	変化なし
2012-2013年5塾	203	135	19	23	7	19
2014年8塾	203	124	16	17	17	29
2015年4塾	119	100	7	6	2	4
17塾 合計	525	359	42	46	26	52
割合(%)		68.3	8.0	8.8	5.0	9.9
		76.3%				

あんしん塾2015のみ成果（4塾30名の症状）

	症状総数	消失	改善			
			ほとんど	中等度	一部	変化なし
美保野	34	27	2	5	0	0
世田谷	14	10	0	1	0	3
二戸	27	22	2	0	2	1
小林	44	41	3	0	0	0
2015 合計	119	100	7	6	2	4
割合(%)		84.0	5.9	5.0	1.7	3.4

注)あんしん塾:各地の自治体・団体による同理論に基づく家族指導塾

表 5 すべての症状の結果まとめ

●認知症の方は 10 名

●症状総数は 43

●そのうち

消失	37 (86.1%)	合計 95.4%
ほぼ消失	4 (9.3%)	
中等度改善	1 (2.3%)	
一部改善	0	
不变	1 (2.3%)	

注)2020開設:東京令和館中野グループホーム 2 unit

詳細はホームページをご覧ください (<https://jsfrc-powerreha.jp/>)。

2024 年 10 月発行